

# 香 川 県 教 員 等 人 材 育 成 方 針

## ～校長及び教員としての資質の向上に関する指標～

### 1 人材育成方針策定の趣旨

香川県教育委員会では、平成17年3月に「香川県教育基本計画」を策定し、子供が豊かな知性とすこやかな心身を兼ね備えた、たくましい人に育つよう、教育やスポーツに関する取組みを進めてまいりました。一方、近年、学校や家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、子供の学力や学ぶ意欲、基本的な生活習慣、家庭や地域の教育力などの面において様々な課題が生じてきています。

また、公立学校の校長及び教員（以下「教員等」という。）の年齢構成の不均衡と多忙化、教育課題の多様化・複雑化、社会環境の急激なグローバル化・情報化、教育課程・授業方法の改革への対応、\*チーム学校の実現等、教員を巡る環境も大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、香川県教育基本計画に掲げた「夢に向かってチャレンジする人づくり」を担う人材を育成するために、人材育成方針を策定することとしました。具体的には、目指すべき教員像を明らかにするとともに、教員等に必要な資質の向上に関する指標を定めることによって、人材育成を体系的、効果的に実施することを目指しています。

\*チーム学校…学校現場で生じる様々な課題解決に向けて、学校の教職員をはじめ保護者、地域住民等がそれぞれの専門的知識、技能を活用しつつ、チームとして連携し、協働する学校組織

### 2 指標の策定にあたって

#### (1) 目指すべき香川の教員像

本県の教員等は、地元香川を愛し、教育に対する使命感や情熱を持つことはもとより、高い人格、識見や倫理観、教育者としての専門的な知識や技能に加え、個性を生かす教育の実現や社会の変化への対応など、学校教育が直面するさまざまな課題に適切に対応できる資質能力が求められています。そこで、新しい時代の教育に対応できる教員等を育成するために、以下に示す「目指すべき香川の教員像」を掲げました。

#### 教育に対する情熱をもち、素養と資質を備えた教員

- 教育者としてとしての使命感、責任感と教育に対する情熱にあふれ、たくましく生きる教員
- 適切なコミュニケーションによる社会性を有し、豊かな人間性にあふれる子供にとって魅力のある教員
- 素養と資質の向上を目指し、学び続ける意欲を忘れず自己研鑽に励む教員

#### 専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応できる教員

- 適切な子供理解により個に応じた柔軟な対応ができ、子供たちの成長を支援する教員
- 専門的な知識や技能に基づく優れた指導力をもった、豊かな教養にあふれた教員
- 社会変化や教育課題に迅速かつ適切に対応するために、創造性や積極性を発揮する教員

#### 連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する教員

- 特色ある学校づくりに積極的に参画し、チーム学校の一員として行動する教員
- 教員間、保護者、地域、関係機関等との連携を大切にし、他者と協働する教員
- 安心で安全な学校づくりのための役割を自覚し、連携、協働しながら自分の役割を果たす教員

#### (2) 指標の位置づけ

指標は、「目指すべき香川の教員像」を基盤として、教員養成を担う大学との共通認識の下、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化することにあります。また、指標は、教員等一人ひとりのキャリアステージに応じて、更に高度な段階を目指す手がかりとなるものであり、自らが絶えず学び続ける意欲を喚起することを可能とする体系的なものである必要があります。

### 3 指標の概要

#### (1) 指標の観点

「目指すべき香川の教員像」に基づいて、「素養・資質」、「知識・技能」、「連携・協働」の柱となる3つの観点を定め、さらに各観点ごとにより細かな観点を3つずつ決めました。全部で9つに分けた観点は、指標の内容を定める際のキーワードとなるものです。

#### (2) 職種について

教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職の4つの職種に区分しましたが、柱となる3つの観点に基づく多くの観点は共通しています。これは、本県の指標がそれぞれの立場でチーム学校に貢献できる資質の向上を目指すためのものだということを意味しています。

#### (3) キャリアステージについて

「基礎期」、「発展期」、「深化期」の3つの段階に区分しました。「基礎期」は採用から6年目までを目安とし、教員としての基礎固めが求められる時期です。「発展期」は7年目から20年目までを目安とし、ミドルリーダーとしての実践と推進が求められる時期です。「深化期」は21年目以降を目安とし、熟練教諭としての助言と指導が求められる時期です。「発展期」以降には、指導的な立場や将来の管理職を目指す教員も含まれています。

管理職は、副校長、教頭と校長を分けて示すことで、求められる資質能力や職務の違いをより明確に示しています。

職 種		教諭・養護教諭・栄養教諭			管 理 職				
キャリアステージ		基礎期	発展期	深化期	副校長・教頭		校 長		
目安となる経験年数		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～					
指標の観点	素養・資質	使命感・責任感	教員としての基礎固め	ミドルリーダーとしての推進力	熟練教諭としての助言と指導	倫理観	校長の補佐と他教員への助言と指導	学 校 経 営	
		コミュニケーション							人間関係調整
		自己研鑽							
	知識・技能	子供理解				判断力・指導力			
		学習指導							決断力・対応力
		生徒指導							人材育成
	連携・協働	学校づくり				マネジメント			危機管理能力
		参画・運営							組織経営力
		危機管理							改革意欲

指導教諭 … 深化期の指標の「他教員への指導、助言」に比重を置き、教育指導の改善、充実に関する資質能力のさらなる向上を目指す。

主幹教諭 … 校長、副校長及び教頭を助けるとともに、副校長、教頭に求められる資質能力に近づくことを目指す。

管理職候補者… 現在の職種に加え、副校長、教頭に求められる資質能力に近づくことを目指す。

### 4 本指標の活用等

指標は、香川県教育委員会が行う研修のみならず、市町教育委員会等が行う研修や学校におけるOJT（オンザジョブトレーニング）など、様々な機会をとらえて活用されることが重要です。また、この指標を基に大学等が行う教員養成における目標の設定やカリキュラムの編成と密接な関連を図るなど、養成・採用・研修の関係機関が一体となって、香川の教員等を育成することが求められます。

また、指標そのものは、不変のものではなく、社会環境や教員等に求められるものなどの変化に応じて、不断の見直しを図り、更新していくことが必要です。